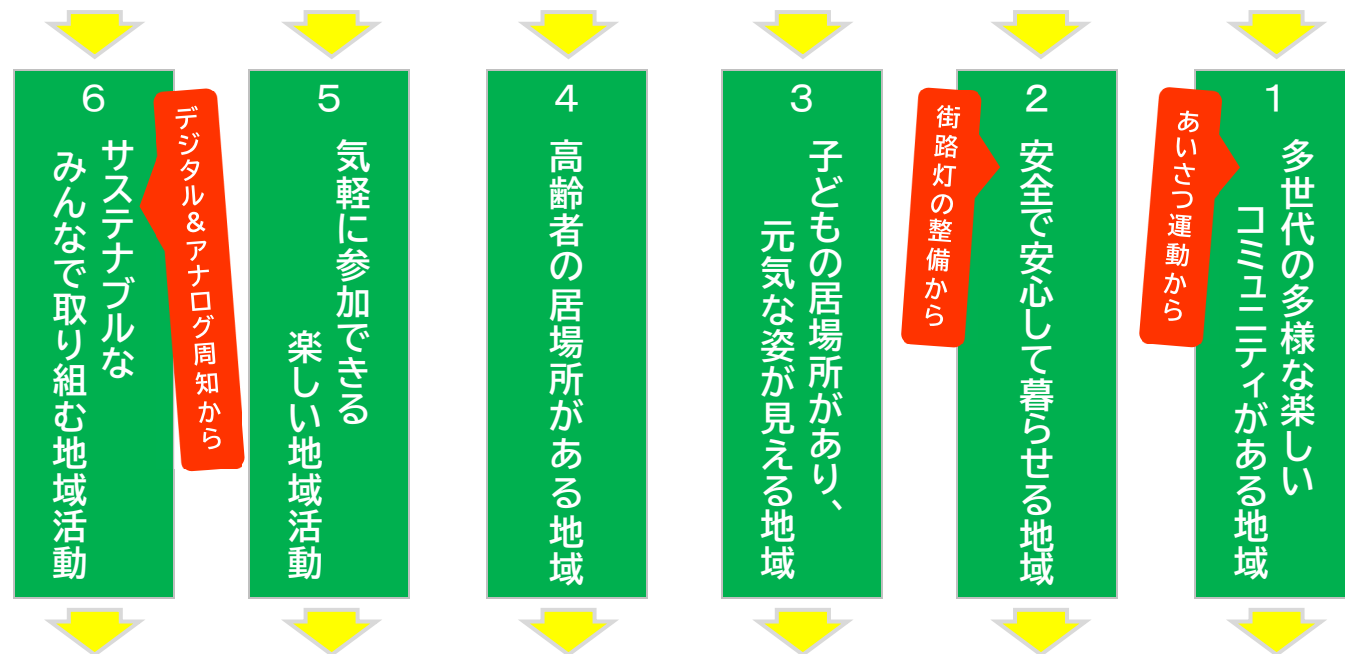


今後の進め方（予定）

ワークショップ終了・地域づくりビジョンの立案（令和7年1月）

いばまちサミットでの報告（令和7年3月1日）



6つのビジョンの実現

参加者の声

※ お名前のないものは
参加者アンケートより紹介

日ごろ思っていたモヤモヤを具体的に
言葉にして話し合うことで共有できた。

子どもに関する課題が多く、地域として
子どもを大切にしてくれる気持ちに子を持つ
親として安心しました。

たくさんの意見が聞けて、「良くしたい」とい
う共通意思が知れて良かった。
今回参加した人に良い意見・WSの意義や楽し
さが広まればよいと思った。

西地区独自の課題もありましたが、西地区の皆さんの
アイデアが豊富なこと、課題認識がしっかりされている
ことを肌で感じました。

茨木市地域コミュニティ課 課長 幸地さん

3回のワークショップを改めて振り返ってみると、みんな
同じ方向を見ていたのだなと思いました。本当に良い
会議ができたと思っています。ありがとうございました。

西地区地域協議会 会長 田坂さん

多世代 多様な 楽しい コミュニティに！

茨木市 西地区 地域活動の活性化に向けたワークショップ

ワークショップニュース vol.3

令和7年2月

第3回ワークショップを開催し、「地域づくりビジョン」がまとまりました！

1/19(日) 第3回「みんなが楽しく暮らせるこれからの地域と地域活動について考えましょう！」

12/22(日) 第2回「地域をより良くするには？地域のこと、担い手のこと、話し合いましょう」

11/17(日) 第1回「西地区ってどう？地域の魅力と課題について共有しましょう！」

西地区では1月19日(日)に「みんなが楽しく暮らせるこれからの地域と地域活動について考えましょう！」をテーマにワークショップを開催しました。今回は、27名の参加のもと、2グループにわかれて話し合い、11月から開催してきた3回連続ワークショップ「多世代 多様な 楽しい コミュニティに！」の最終回として、「6つの地域づくりビジョン」がまとまりました。

ビジョンは4つの「地域の目標」と、2つの「地域活動の目標」からなり、あいさつ運動や街路灯の増設、デジタル・アナログ両面での広報活動などすぐに取り組もうというものから、交通安全や校庭開放など、実現にはみなさんとの話し合いなど時間のかかるものもあります。詳細は、ページをめくって中面を、ワークショップ参加者からの声については、裏面をご覧ください。6つのビジョンの実現はこれからがスタートです。ご協力よろしくお願いします。

今回のワークショップの経過と6つのビジョンについては、来年3月1日(土)に、茨木市主催で開催される「いばまちサミット」にてご報告します。ぜひ、ご参加ください。



Aグループ発表



Aグループ
意見交換



全体意見交換



Bグループ発表

1 多世代の多様な楽しいコミュニティがある地域

① あいさつ運動で顔の見える、つながりを大切にする地域へ

- 「知り合いにはあいさつをする」からはじめて、「知り合いがたくさんいる地域」に向けたあいさつ運動
- 小学校と連携して、「あいさつ運動ポスター」をつくって、自治会の掲示板で機運形成

すぐ

おはようございます!!

② 多世代が交流できて、集まれる場所がある地域へ

- 集会所を全自治会に確保するなど、あちこちに集える場所を
- 西保健福祉センターや沢池多世代交流センターなど近隣の公共施設を新たな活動場所に
- 市の協力のもと、使える空き家を発掘し、新たな活動場所に



2 安全で安心して暮らせる地域

① 見守り活動で安全で安心して暮らせる地域へ

- 見守り活動の目印をもっと増やして、目印、位置、活動を子どもやみんなにアピール
- 見守り活動を工夫して不審者と思われないように、よりわかりやすく

すぐ

② 街路灯の設置や道路整備で楽しく安全に歩ける地域へ

- グリーンロードの街路灯を歩道側にも市に設置要望
- 街路灯が不足している道を確認し、不足箇所を整理して市に設置要望
- バス通りや通学路が安全に歩ける道となるよう市と具体策を協議
- グリーンロードに自転車道の設置要望

すぐ

すぐ

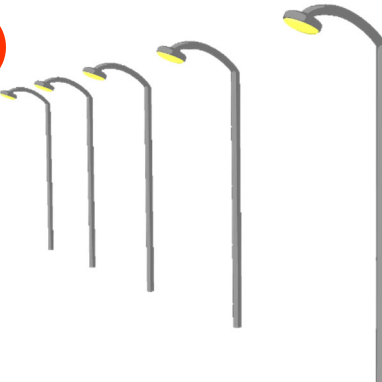
③ 交通や買い物が便利な地域へ

- 交通利便性を高めるように、バスの増便やルート変更を要望
- バスや移動スーパーの経路・日時を地区内に周知し、最大限活用

すぐ

④ 健康に過ごせる地域、健康になる地域へ

- ウォーキングの推進、ウォーキングロード・ランニングロードの整備



3 子どもの居場所があり、元気な姿が見える地域

① 校庭開放で放課後の小学校を子どもの居場所に

- 実験的な校庭開放で、子どもたちのニーズに応じて、安全、体制、費用を考慮しながら具体化

② 公園をリノベーションしてみんなが集う居場所に

- あまり使われてない公園や、利用に課題のある公園のあり方を話し合ってみんなが集う居場所に

4 高齢者の居場所がある地域

① 既存の施設や空き家を活用して高齢者の居場所に

- 公共施設、空き家などを活用して高齢者が行きやすい場所に憩いの家など居場所を確保

② 高齢者に得意なことをお願いできる地域へ

- 学校の元先生、元〇〇さんなど、高齢者に得意なことを聞いて、やってほしい人につなぐしくみを

5 気軽に参加できる楽しい地域活動

① 自然と人が集まる地域活動へ

- 気軽集える場所を確保して、自然と人が集まり、行事に参加しやすい地域活動へ

② 多世代が気軽に、行事に参加しやすい地域活動へ

- 少人数の集まりやニュースポーツの講習会など気軽に参加できるイベントを
- 「知り合いがやっているからやってみよう」など、役員を新規募集し、世代交代を進め、多世代体制に
- 学校関連など、知り合いや各世代の横のつながりをつくり、次に縦のネットワークを広げる

6 サステナブルなみんなで行き組む地域活動

① サステナブルな地域行事へ

- 行事をコンパクトにする、同日開催できそうなものをまとめるなど、工夫して交流の多い地域行事へ
- 行事ごとの担い手募集、若手執行部づくり、青少年のスタッフ増、子どもも企画に参加などで担い手育成
- 将来の担い手となるよう参加者を増やす

すぐ

② デジタルとアナログで活動を見える化し、みんなに周知

すぐ

- 情報が多くの人に伝わるように、活動を見える化
- 情報発信は、デジタルとアナログのハイブリットで
- 回覧板、掲示板、チラシ、メールマガジン、公式 LINE などを活用し、LINE と回覧板は同時発信
- 学校と調整して、小学校のメール配信も活用
- 行事のお手伝い参加応募は、回覧板だけではなく、スマホでも
- 各団体の年間行事をまとめて、入学式後や各団体の総会後に配布

